

岩手モリヤ株式会社 《平成 19 年度厚生労働大臣表彰》

「 ～障がい者も共に成長していく企業を目指して～ 」



- ◆ 事業所所在地 久慈市夏井町大崎 13-3-3
 - ◆ 事業内容 高級婦人既製服縫製
 - ◆ 従業員数 121名
うち障がい者数 6名
- ※障がい種別：身体障がい3名、知的障がい3名（うち重度1名）

◆ 障がい者雇用の経緯、背景

岩手モリヤ株式会社は高級ブランド婦人服の縫製を行っており、製造された婦人服は都市部の百貨店等で販売されています。以前、会社が認定職業訓練校を独自に設置し人材育成に取り組んできたことから、障がい者も積極的に雇用してきました。現在雇用している障がい者は6名（うち常用5名、パート1名）で、これまで退職者がいないことが特徴です。長年にわたる障がい者雇用及びその人材育成に関しての功績が認められ、障害者雇用優良事業所として平成19年度に厚生労働大臣表彰を受賞しました。

◆ 障がい者が従事している具体的な作業内容や配置など、障がい者雇用に関して工夫していること

森奥社長は「障がいを持っていることを分かった上で、できる仕事をしてもらっています。具体的には、物の移動からタグ付け、パットのテープ付け、また、襟の貼り合わせや、業務用ミシンを使った縫製に至るまで、障がいの種類、程度に応じて分担しています」と話していました。

工場を実際に見学させていただきましたが、皆さん手際が良く、正確かつ大変スピーディに作業を進めています。また、自信に満ちあふれた明るい表情で仕事をしている姿が印象的でした。

なお、通勤は、自宅から長距離にもかかわらず車を自分で運転してくる人もいれば、駅まで従業員が送迎している人もいるとのことでした。

◆ 障がい者が雇用されるために必要なこと、雇用を継続していくうえでの課題

森奥社長は、「長い目で見て育てて行くことを基本に採用してきました。採用した上で、その人にどんな仕事ができるか考えるのです。何の仕事をしてもらうのが先にあるわけではありません。採用したからには、責任を持って接していきます。できることからやっていけば、本人も自信がついていきます。また、決して特別扱いするのではなく、従業員の皆が、障がいを認めていく環境づくりをしています。」と話していました。

とかくハード面に目が行きがちですが、ソフト面での支援が必要とのこと。経営者が理解を示す、周りの従業員が長い目で見る、能力に応じて仕事の量や内容を変えて育てていくことなど。また、職場の中で信頼できる人がいることも、大きな支えとなるとのことでした。

◆ 就労を希望している障がい者へのメッセージ

「常に前向きな姿勢を示すことです。決して甘えず、事実を直視して努力を惜しまないこと。努力すれば必ず仕事は身についてきます。また、自分の心を開くことが必要です。自分が心を開かなければ、人は入って来ません。コミュニケーション不足は失敗につながります。一人では決して生きていくことはできないのです。」また、「自分ひとりがつらいと思わないこと。もっと大変な人もいると思うこと。そして、常に成長していく気持ちを持つことが大切です。」（森奥社長）

作業風景



手際よく芯地を貼る作業を行っています。



バットのテープ付け作業



踏み板の高さを調節したミシンで縫製



丁寧な縫製作業



取材に応じてくださる森奥社長